

た + す + と

2009年7月

第7号

市民活動や地域活動をしている方、
これからしたいと思っている方に役立つ
情報を隔月で発信しています。

●もくじ●

P 2～3 たがサポ1周年記念イベント！開催報告

市民活動・地域活動の持つ力とは

P 4 たがサポを拠点に活躍中！～共同事務室入居団体紹介④

多賀城市史跡案内サークル

P 5 たがサポミニ活用術～上手に情報発信しよう！～

たがサポブックレビュー

「人が集まる！行列ができる！講座、イベントの作り方」

P 6 たがサポ事業紹介

書籍貸出を始めました

共同事務室入居団体募集のお知らせ

『たがサポ』とは？

『たがサポ』の機能って？

今月のひとコマ



手にとれば思わず納得！

『市民活動お役立ち情報』人気の秘密。

→詳しくは下のコーナーへ

スタッフが気づかないうちにじわじわと減っているチラシがあります。知らないで損する『市民活動お役立ち情報』です。たがサポの入口に入って左側にあるラックを要チェック！ここには、現在5種類のお役立ち情報があります。

NPOってよく聞けど実際に何をしてるか知ってますか？
イベントで集客に力を入れたいとき多賀城市内のどこにチラシを置けるか知ってますか？
どこに連絡すれば、イベント情報を新聞や雑誌で取り上げてくれるか知ってますか？

団体内の決まりごとをどうやって書面にしますか？
年度末の報告書作りに悩んでいませんか？

そんな疑問や悩みがA4たった1枚の紙で解決します！これを知っているのと知らないのとでは大きな差です。今さら人に聞けないようなこともお役立ち情報を読めば解決です！

さらにお役立ち情報を入手したい方はスタッフまで気軽にお声がけください。

たがサポ1周年記念イベント！開催報告

市民活動・地域活動の持つ力とは

地域づくりの新たな拠点として誕生した市民活動サポートセンター(通称「たがサポ」)。6月1日に開館1周年を迎えたのを記念してイベントを開催しました。関心の高い4つのテーマで活動する団体にお話を伺う「市民活動テーマトーク」や多賀城にゆかりのある方をパネリストにお迎えした「パネルディスカッション」、交流会などのさまざまなプログラムを通して、多賀城をはじめ周辺地域で活躍する市民活動や地域活動のパワーや成果を知っていただきたいと企画したものです。今回は当日の様子をぎゅっと濃縮してお伝えします。あなたが今取り組んでいる市民活動・地域活動のヒントが見つかるかもしれません。

日時:平成21年6月6日(土)
午前9時～午後7時
会場:市民活動サポートセンター
参加者数:のべ183名

市民活動テーマトーク1 地域福祉

「支えあいが地域を変える！
地域発の福祉活動とは？」

特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家
理事長 小岩孝子さん
ふれあい高砂 代表 木皿玲子さん

地域福祉の拠点づくりを行っている小岩さんは「地域のニーズに合った活動をしていると、地域の方々や行政施設の協力が得られる」と言います。今では協力者が増え、子どもから高齢者、障がいを持つ住民、すべての人が参加して、地域を守っていくことを大切にしているそうです。

木皿さんは、民生委員の経験から地域の高齢者へ何かお手伝いができないものかと地域で勉強会を行い、ボランティアサークルを立ち上げました。施設や個人の家に行き、代筆や衣類の着脱のお手伝いなどを行っています。地域のニーズに合わせ最近では、精神障害者の家族が集まるサロンの運営もしています。

2つの活動は、地域にある行政施設や地域住民との関わりが大きなきっかけになっています。地域の行政施設からのアドバイスを受けたり連携することで、よりよい地域づくりにつながっています。

市民活動テーマトーク2 生涯学習と地域づくり

「学びから広がる笑顔の輪。
生涯学習がひらく地域づくり」

グループGOZAIN 前代表 高橋英夫さん
賢和会「男の台所」 代表 安海賢さん

高橋さんは得意な英語を活かして、外国人対象の観光ガイドボランティアの団体を立ち上げました。もともと多様な趣味をもっていた高橋さん。自分の興味関心や得意なことを棚卸していたそうです。会では、ガイドボランティアだ

けでなく、スキルアップのための勉強会や英語を楽しむための勉強会など、会員みんなが楽しく活動を続けられるようにとさまざまな工夫をしています。

一方、男性を対象とした料理教室が各地で開かれています。安海さんが代表を務める「男の台所」は単なる料理教室にとどまらず、男性の食の自立をめざして始めた活動が、地域の福祉を支える活動にまで発展しています。安海さんは「自分で活動を社会に仕掛けると自分が楽しくなり、結果として人のための活動として育っていく」とお話しされました。

生涯学習の切り口で市民活動・地域活動へ参加を呼びかけることで、新たな人材が集まり、地域づくりにつなげるきっかけとなっているのです。



市民活動テーマトーク3 地縁組織

「地域団体の新しいカタチとは？
地縁組織の可能性を語ろう！」

福住町町内会 会長 菅原康雄さん
仙台市立西中田小PTA
おおっ！とうちゃんの会 元会長 皿山正二さん

菅原さんは防災をテーマに福住町町内会で地域づくりを進めています。近年、町内会の活動から住民の足が遠のいていると言われていたお祭りなど町内行事の交流を通して、お互いに顔の見える関係をつくるのが地縁組織の基本だと菅原さんは言います。地域で防災運動を行うことが町内の繋がりを一段と強くし、緊急時の備えとして地域に安心感を与えています。まずは賛同者同士で災害時緊急名簿をつくるのが大事だと話していました。

皿山さんは地域の親父の会やスポーツ少年団など、子どもに関わる活動をしています。「中田地区に住む大人の仕事は、頑張っている大人の背中を子どもたちに見せること」だと皿山さんは言います。地域活動に汗を流す姿を見せないと、やはり子どもたちも育っていかないということです。また地域にはいろんなつながりや得意技を持った人がいます。そういう人たちと協力しながら地域を盛り上げていったイベントや活動事例などを紹介いただきました。

**市民活動テーマトーク4 子ども・子育て
「子育て応援宣言！
子ども・家族を支える活動を知る」**

仙台市子育てふれあいプラザ「のびすく仙台」
館長 伊藤千佐子さん
特定非営利活動法人 ミヤギユースセンター
理事長 土佐昭一郎さん

伊藤さんは、資格がなくても子育て体験があれば子育て支援はできるはずだと考え、NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワークを立ち上げ、現在「のびすく仙台」（以下、「のびすく」）の管理運営を行っています。「のびすく」では親子の集いの場所を提供するだけでなく子育てに関する親の悩み相談も受けています。利用者は、仙台市内に限らず多賀城からも来ているそうです。

土佐さんからは、企業で働いていた経験を活かして地元で大検の支援ができないかと思い、仙台市や宮城県の市民活動支援施設をうまく利用しながらNPOを立ち上げたお話がありました。「ミヤギユースセンター」も多賀城を含む仙台近郊からの利用があるそうです。

子育ては親や家族だけの問題ではなく地域全体で支えることが、多賀城市のような小規模都市にこそ必要なのではないかとお話でした。

**パネルディスカッション
「多賀城市をつくるのは私たち
～たがサポが支える市民活動のあした」**

子育て支援グランマ 代表 大澤ちか子さん
ふうどばんく東北AGAIN
代表 川崎豊さん
特定非営利活動法人 ミヤギユースセンター
理事長 土佐昭一郎さん

グランマは、シルバー人材センターのベビーシッター講座を受けた人たちの中から「このま

ま終わるのはもったいない」という声があがり立ち上がった団体です。行政の提供する講座企画を上手に参加者同士で育てることで、新たな活動が生まれるきっかけとなるのです。

川崎さんからは、AGAINの活動は余剰食品がなくなり、食べられない人がなくなり、環境にも優しい取り組みであることが紹介されました。また、だれでも参加できる活動であることから、家庭や行政や学校、企業など多賀城市全体で取り組み、全国に発信できるのではないかという提案がありました。

土佐さんは、不登校やひきこもりなど、行政の制度では対応ができない活動に取り組んできた経験から「学校はもともと教わる場所であって、我が子を育てるところではない。親が、地域が子どもを育て、勉強を教わるのが学校。教育を学校まかせにしないで、地域で育てる視点を持ってほしい」というメッセージを伝えました。

市民活動は、仙台市・多賀城市という市町村の境目を軽々と越える活動であり、だれでも関わられる活動であるといえます。そのことが、人々の生き甲斐をつくり、社会を支えていく取り組みになっているのではないかというコーディネーターの言葉で締めくくられました。



アフタートーク

市民活動テーマトークのあとに、ゲストの方を囲んで質問や情報交換・交流できる場を設けました。テーマトークでは聞けなかったことや、今後の連携につながるようなお話がされていました。

アフタートークの会場では「ふうどばんく東北AGAIN」によるコーヒーとパンのチャリティ販売が行われました。



アルファ米試食&タケヒローネ

災害時の非常食として備蓄されているアルファ米の活用法について、多賀城市交通防災課の職員から備蓄の状況をお話いただいたあと、2種類のレシピの実演を行いました。どこのご家庭にもある材料で白米が変身しました。

お昼の時間には、アルファ米の試食会と「TAP多賀城」によるタケヒローネの販売が行われました。地元産のトマトを使い、多賀城美味しい味の認定品にもなったタケヒローネは「おいしい」と好評でした。

たがサポを拠点に活躍中！～共同事務室入居団体紹介④

当センターの2階には、市民活動団体の簡易事務所として活用できる事務用ブースがあります。この事務用ブースを拠点としながら、さらにステップアップしようと活動する入居団体を紹介していきます。
第4回目は「多賀城市史跡案内サークル」さんにお話を伺いました。

地元の人に歴史とまちをもっと知ってもらいたい

多賀城市史跡案内サークル

●きっかけは講座から

多賀城市史跡案内サークルは、平成3年3月から始まった多賀城市教育委員会主催の「史跡案内ボランティア養成講座」を受講した方の中で、学んだことを活かし、継続して活動していこうという話が盛り上がり、平成5年2月に世話人会が発足、講座受講者全員に声をかけて、賛同を得た29人で平成5年5月より「多賀城市史跡案内サークル」の活動がスタートしました。

発足から16年目を迎える現在は、史跡のガイド活動、機関紙の発行、月1回の勉強会の開催などの活動を行っています。

●地元の人に知ってもらいたい！

平成20年度のガイドの実績は、13件682人にのびります。多くは多賀城市教育委員会や東北歴史博物館からの依頼を受けて実施しています。

観光客のガイドもありますが、地元に住む方へのガイドが多くを占めているのが特徴です。市内の小・中学校や自衛隊の研修として活用されており、多賀城の歴史を知り、多賀城のよさを知ってもらいたいという思いのもとにガイドしているということです。

ガイドの活動を支える月1回の定例勉強会は、会員が講師になり、お互いに学びあう形をとっています。また、野外研修の機会も設けており、会員の研修に力を入れています。毎回出席率もよく、会員も積極的に活動に参加する意欲をもっているとのこと。

●活動費は自分たちで調達

史跡案内サークルは、活動の継続性を考え、助成金をもらわずに活動をしています。

会費や会員からの寄付のほかに、ジャスコが行っている「黄色いレシートキャンペーン」も積極的に活用しています。キャンペーン当日は会員が店頭に並び、自分たちの活動を説明、アピールすることで、多くの方の協力を得ようと努力をしているそうです。

※イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンとは・・・

毎月11日のイオン・デーに、地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函BOXをお店に配置。この日は、お客がレジ精算時に受け取った黄色いレシートを応援したい団体の投函BOXへ入れると、お買い上げ金額合計の1%が団体に希望する品物で寄贈されるもの。

●歴史やまちを考える場に

史跡案内サークルは、ガイドボランティアも行っていますが、ガイドが活動の中心ではないと代表の大山さんは話します。歴史や多賀城のまちについて考えたり意見を話すことができる場の一つとして、団体を位置づけたいと考えているそうです。

そのひとつとして、機関紙「いしぶみ」の充実をはかりたいということです。「いしぶみ」は年4回3000部発行の投稿型の機関紙。史跡に関係するものに限定せず、歴史に関するものやまちづくりに関するものも気軽に投稿し、自分の意見を発信する場として活用してほしいとのこと。

「多賀城だから、市民だから、できることを実現していきたい」と大山さん。歴史や多賀城のまちに関心のある方は、ぜひ活動に参加してみませんか。

多賀城市史跡案内サークル

〒985-0873

多賀城市中央2-25-3

多賀城市市民活動サポートセンター レターケースNo.4

TEL・FAX: 022-362-7142 (代表: 大山)

たがサポミニ活用術 ～上手に情報発信しよう！～

たがサポには貸室以外にもたくさんのサービスがあります。

今回は、たがサポのサービスを上手に利用してイベントチラシの作成から配架までの流れを『たがサポミニ活用術』と題してお伝えします！

① 貸出用PCを使って イベントチラシを作ろう！



たがサポの無料で使えるパソコンを使って、チラシを作成！

作り方がわからなくても大丈夫！経験豊富なたがサポスタッフがあなたのチラシ作りをお手伝いします。文字の大きさや形、配置を変えるだけでもすっきり見やすいチラシができます。

紙の持参をお忘れなく。

② 印刷機ですばやく 大量印刷！



チラシのデザインが完成したら印刷機で印刷しましょう。

たがサポ2階にある印刷機は、優れもの。短時間で大量印刷が可能です。原稿1枚100円で最大500枚まで印刷できるのでとっても安い！紙折機や裁断機を上手に使うとさらにお得です。

使い方がわからなかったらスタッフに聞いてくださいね。

こちらも紙の持参をお忘れなく。

③ チラシラックに配架！ お得な情報もあります。



印刷が終わったら、さっそくチラシをたがサポのチラシラックに置きましょう。

たがサポ1階で受付を済ませれば、スタッフがラックにチラシを置きます。一度におけるチラシの枚数は20～30枚程度。

市民活動お役立ち情報No.2『市民活動団体が利用できる公共施設』をチェックしてほかのチラシを置ける場所も調べてみましょう。スタッフに相談していただければ、さらにお得な情報をゲットできるかも！？

たがサポブックレビュー

6月1日より貸出を始めた書籍の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



「人が集まる！行列ができる！ 講座、イベントの作り方」

発行日：2007年4月

著者：牟田静香

発行：講談社（講談社+α新書）



NPOや市民活動の場だけではなく行政や民間で行う講座やイベントには、「人が集まらない」という悩みを抱えていることが多いのではないのでしょうか。

この本では、東京都大田区にある男女平等推進センター

「エセナおおた」で講座を企画している著者が、「行列の出来る講座・イベント作り」「思わず手に取りたくなるチラシ作り」をテーマに、いろいろな人が抱えている課題を分類しターゲットを徹底的に絞ること、そのターゲットの心に響くタイトルをつけること、ターゲットに「私が行くべき講座」だということをしっかり認識させるチラシの作り方など、著者の経験してきた失敗と成功の実例をあげた分かりやすい内容となっています。

初めての人にはチラシ作りに必要な基礎を、これまでチラシを作って活動してきた方にはさらなるノウハウを会得することができます。これからのイベントシーズンに向けて大いに役立つ1冊ですので、インパクトのあるチラシでイベントを成功させましょう！

■図書販売コーナー

NPO・市民活動団体が発行する図書（報告書、パンフレット等）を販売しています。

詳しくはお問い合わせください。

- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらう機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことで、団体をより深く理解することができるとともに、団体の支援にもつながります。

■閲覧図書コーナー

情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が閲覧できます。



たがサポ事業紹介

平成21年度に「たがサポ」で予定している講座やイベントをご紹介します。みなさんのご参加をお待ちしています！



●NPOいちから塾

NPOについて知りたい方へ、わかりやすくお伝えする講座です。NPOの基礎情報と、毎回テーマを決め、テーマに沿った活動の紹介もします。

日程: 7月9日(木) 19:00~20:30

テーマ「環境」

会場: 市民活動サポートセンター

書籍貸出を始めました

「たがサポ」1階の情報サロン内の書籍の貸出を始めました。市民活動、NPO、地域活動をキーワードに集めた、市民活動・地域活動に役立つ書籍が満載です。



本を借りるには…

■初めて書籍を借りる時には、登録が必要です。名前と住所が確認できる身分証明書(運転免許証、保険証など)をお持ちください。登録申込書に記入すると登録完了です。貸出カードを発行します。

■借りたい本を窓口にお持ちください。貸出票に記入の上、貸出カードの提示をお願いします。本は一人2冊まで借りられます。貸出期間は2週間です。

共同事務室入居団体募集のお知らせ

利用期間: 平成21年8月1日~平成22年7月31日

使用料: 1000円/月

募集期間: 平成21年7月2日(木)~20日(月)

申込方法: 窓口で配布する「使用許可申請書」に必要事項を記入の上「団体紹介シート」を添えて申込。

◎市民活動共同事務室とは

市民活動団体が簡易事務所として活用できる事務用ブースを備えています。パーティションで仕切られている中に、事務机とイスを用意しています。ちょっとした事務作業やパソコンを持ち込んでのデスクワークも可能で、開館時間内ならいつでも利用できます。入居団体はここを拠点としながら、3年間の入居期間中に自立をめざし、たがサポのさまざまな機能を活用しながら活動しています。



■『たがサポ』とは?

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

開館時間: 月~土曜日 午前9時から午後9時30分まで

日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで

休館日: 毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)

年末年始(12月28日~1月4日)

交通案内: JR仙石線多賀城駅より徒歩12分

駐車場・駐輪場があります

■『たがサポ』の機能って?

①市民活動の場の提供

- ・貸室(有料)
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
- ・交流サロン(予約不要・無料)
少人数の打ち合わせや事務作業などに利用できます。
- ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
- ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
- ・事務用ブース(1,000円/月)
- ・印刷作業室
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)
コピー機(10円/枚)

②市民活動に関する情報の収集・提供

- ・情報サロン
市民活動に関するさまざまな情報があります。
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、助成金情報、ボランティア情報、パソコン(作業・インターネット用/無料)

※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください!

- ③市民活動に係る人材の育成・支援
- ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
- ⑤市民活動に関する相談への対応



多賀城市市民活動サポートセンター事務局のスタッフによるブログです。ぜひご覧ください!

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

■たがサポは社会に支えられています

- 自動販売機の設置
たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業: 宮城中央ヤクルト販売(株)
- 印刷作業室のコピー機
印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社の市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



□発行: 多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3
TEL: 022-368-7745 FAX: 022-309-3706

□発行日: 2009年6月20日

□編集: 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター